

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日
上場取引所 東

上場会社名 昭和電線ホールディングス株式会社
コード番号 5805 URL <http://www.swcc.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 相原 雅憲

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部IR・広報グループ長 (氏名) 菅井 幹夫

TEL 03-5404-6951

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	132,779	7.2	1,305	—	456	—	108	—
25年3月期第3四半期	123,881	△2.0	△96	—	△1,577	—	△1,582	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 978百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △2,064百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	0.35	—
25年3月期第3四半期	△5.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	143,086	36,364	25.2
25年3月期	136,890	35,349	25.6

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 36,012百万円 25年3月期 35,057百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	182,000	7.2	2,500	121.9	1,200	—	700	—	2.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	308,268,611株	25年3月期	308,268,611株
26年3月期3Q	116,068株	25年3月期	107,492株
26年3月期3Q	308,157,810株	25年3月期3Q	308,164,352株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成25年11月8日に公表した平成26年3月期通期連結業績予想につきましては、平成26年2月7日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」において公表しました内容を記載しております。
2. 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融政策や財政政策を背景に円安・株高が進行し、輸出や民間設備投資、個人消費が持ち直すなど、穏やかな回復がみられました。一方、中国をはじめとする新興国経済の減速懸念が続くなど、依然として先行きが不透明な状況で推移しました。

電線業界においては、建設・電販向けの需要は引き続き底堅く推移する中で、電気機械、自動車分野も復調の兆しがみられましたが、電力、通信分野は低迷が続くなど、需要部門ごとに好不調の差がみられました。収益面では、原材料やエネルギーコストの上昇を受け、厳しい環境で推移しました。

このような環境下、当社グループの第3四半期連結累計期間の売上高は1,327億79百万円（前年同四半期対比7.2%増）となりました。損益面では、前期に講じた事業構造改革により固定費削減が図れたことから、営業利益は13億5百万円（前年同四半期は96百万円の営業損失）、経常利益は4億56百万円（前年同四半期は15億77百万円の経常損失）、四半期純利益は1億8百万円（前年同四半期は15億82百万円の四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(電線線材事業)

首都圏の再開発物件に加え、メガソーラ関連の引き合いも堅調で、建設・電販向けの出荷は伸長しましたが、原材料価格の高騰等によりコストが上昇したことから、売上高は632億29百万円（前年同四半期対比29.1%増）、営業利益は9億38百万円（前年同四半期対比43.2%減）となりました。

(電力システム事業)

国内電力向けの需要低迷を受け出荷は減少しましたが、固定費削減を進めたことから、売上高は203億54百万円（前年同四半期対比32.7%減）、営業損失は3億35百万円（前年同四半期は13億96百万円の営業損失）となりました。

(巻線事業)

高機能製品に使用される細物平角巻線や自動車用電装品向け巻線の需要は堅調に推移し、低迷が続いていた重電向けの需要も第3四半期に入り回復の兆しがみられました。収益面では原材料やエネルギーなどのコスト上昇の影響を埋めきれず、売上高は159億96百万円（前年同四半期対比7.2%増）、営業損失は9百万円（前年同四半期は75百万円の営業損失）となりました。

(コミュニケーションシステム事業)

通信ケーブルの国内需要は総じて低調に推移しましたが、道路関連等、特定の分野では通信ケーブルの売上が増加しました。収益面では関連する子会社の解散等により固定費削減を進めてきたことから、売上高は148億9百万円（前年同四半期対比3.2%増）、営業損失は46百万円（前年同四半期は4億93百万円の営業損失）となりました。

(デバイス事業)

建築用免震装置や複写機用ローラ等の精密デバイスを中心に需要が堅調に推移したことから、売上高は167億72百万円（前年同四半期対比21.1%増）、営業利益は8億46百万円（前年同四半期対比51.6%増）となりました。

(その他)

売上高は16億17百万円（前年同四半期対比5.6%増）、営業損失は1億60百万円（前年同四半期は2億71百万円の営業損失）となりました。

注. 上記、セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含めておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,430億86百万円(前連結会計年度末総資産1,368億90百万円)で、主に現金及び預金が減少した一方、受取手形及び売掛金およびたな卸資産が増加したため、前連結会計年度末より61億95百万円増加しております。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,067億21百万円(前連結会計年度末負債合計1,015億40百万円)で、主に事業構造改善引当金が減少した一方、短期借入金および長期借入金が増加したため、前連結会計年度末より51億80百万円増加しております。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は363億64百万円(前連結会計年度末純資産353億49百万円)で、前連結会計年度末より10億15百万円増加しております。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の実績および国内汎用電線を中心に原材料価格等の上昇によるコスト増加に対応した販売価格への転嫁が想定より遅れていることから、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回予想を下回る見込みとなりました。

詳細につきましては、本日(平成26年2月7日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	176,000	3,000	2,000	1,500
今回修正予想(B)	182,000	2,500	1,200	700
増減額(B-A)	6,000	△500	△800	△800
増減率(%)	3.4	△16.7	△40.0	△53.3
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	169,798	1,126	△847	△6,365

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

特定子会社につきましては、該当事項はありません。

なお、特定子会社以外の子会社の異動につきましては、以下のとおりであります。

(連結の範囲の変更)

当第3四半期連結会計期間より、前連結会計年度において持分法適用会社であった株式会社昭和サイエンスについては、株式を追加取得したことに伴い持分が増加したため、持分法適用会社から連結子会社に変更しております。

(持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結会計期間より、前連結会計年度において持分法適用会社であった株式会社昭和サイエンスについては、株式を追加取得したことに伴い持分が増加したため、持分法適用の範囲から除外しております。

平成25年11月6日をもって、持分法適用会社の富通昭和線纜(杭州)有限公司を存続会社とし、同じく持分法適用会社の杭州富通昭和銅業有限公司および杭州富通昭和線纜配件有限公司を消滅会社とする吸収合併を実施したことにより、杭州富通昭和銅業有限公司および杭州富通昭和線纜配件有限公司は、持分法適用の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,683	6,990
受取手形及び売掛金	47,053	50,008
たな卸資産	19,247	21,910
その他	4,325	5,200
貸倒引当金	△242	△188
流動資産合計	79,067	83,921
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,325	10,146
機械装置及び運搬具（純額）	5,836	6,023
土地	24,009	24,009
その他（純額）	1,605	2,612
有形固定資産合計	41,777	42,792
無形固定資産	2,101	2,041
投資その他の資産		
投資有価証券	7,628	8,267
その他	6,706	6,431
貸倒引当金	△390	△369
投資その他の資産合計	13,945	14,329
固定資産合計	57,823	59,164
資産合計	136,890	143,086
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,631	24,029
短期借入金	42,922	46,008
未払法人税等	329	172
工事損失引当金	30	5
事業構造改善引当金	1,187	241
その他	10,944	11,033
流動負債合計	79,046	81,491
固定負債		
長期借入金	13,773	16,492
退職給付引当金	649	566
役員退職慰労引当金	112	110
その他	7,959	8,061
固定負債合計	22,494	25,229
負債合計	101,540	106,721

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,221	24,221
資本剰余金	11,035	6,428
利益剰余金	△6,077	△1,361
自己株式	△13	△14
株主資本合計	29,166	29,274
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	780	787
繰延ヘッジ損益	23	7
土地再評価差額金	5,031	5,031
為替換算調整勘定	55	911
その他の包括利益累計額合計	5,890	6,737
少数株主持分	292	352
純資産合計	35,349	36,364
負債純資産合計	136,890	143,086

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	123,881	132,779
売上原価	110,874	118,912
売上総利益	13,007	13,867
販売費及び一般管理費	13,103	12,562
営業利益又は営業損失(△)	△96	1,305
営業外収益		
受取利息	12	31
受取配当金	127	133
為替差益	—	106
その他	158	276
営業外収益合計	298	547
営業外費用		
支払利息	779	814
持分法による投資損失	85	256
為替差損	136	—
補修工事費用	485	—
その他	291	325
営業外費用合計	1,780	1,396
経常利益又は経常損失(△)	△1,577	456
特別利益		
負ののれん発生益	—	18
受取補償金	99	—
固定資産売却益	29	—
その他	—	3
特別利益合計	129	21
特別損失		
事業構造改善費用	15	48
減損損失	76	—
その他	170	11
特別損失合計	262	59
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,710	418
法人税等	189	293
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,900	124
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△317	15
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,582	108

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△1,900	124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△208	9
繰延ヘッジ損益	30	△16
為替換算調整勘定	18	412
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	448
その他の包括利益合計	△164	853
四半期包括利益	△2,064	978
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,744	955
少数株主に係る四半期包括利益	△319	22

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

平成25年6月26日開催の当社第117期定時株主総会における決議に基づき、資本準備金4,095百万円を減少し、その他資本剰余金に振替えるとともに、その他資本剰余金4,606百万円を繰越利益剰余金に振替え、欠損の補填を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が4,606百万円減少し、利益剰余金が4,606百万円増加しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 (注)1 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (注)2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 (百万円)
	電線線材 事業 (百万円)	電力システ ム事業 (百万円)	巻線事業 (百万円)	コミュニケ ーションシ ステム事業 (百万円)	デバイス 事業 (百万円)				
売上高									
外部顧客へ の売上高	48,984	30,241	14,925	14,348	13,850	1,532	123,881	—	123,881
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	13,545	867	538	1,435	572	7,767	24,726	△24,726	—
計	62,529	31,108	15,463	15,783	14,423	9,299	148,608	△24,726	123,881
セグメント利 益又は損失 (△)	1,652	△1,396	△75	△493	558	△271	△26	△69	△96

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流業、事務管理業務、超電導線事業等の製造販売等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△69百万円には、のれんの償却額△56百万円を含んでおります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「デバイス事業」および「その他」において、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては「デバイス事業」で62百万円、「その他」で13百万円であります。

(海外売上高)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

	アジア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	14,447	203	14,651
II 連結売上高(百万円)	—	—	123,881
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	11.7	0.2	11.8

(注)1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国または地域
アジア………中国、シンガポール、カタール等

3 海外売上高は、当社および連結子会社の日本以外の国または地域における売上高であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					その他 (注)1 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (注)2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 (百万円)
	電線線材 事業 (百万円)	電力システ ム事業 (百万円)	巻線事業 (百万円)	コミュニケ ーションシ ステム事業 (百万円)	デバイス 事業 (百万円)				
売上高									
外部顧客へ の売上高	63,229	20,354	15,996	14,809	16,772	1,617	132,779	—	132,779
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	15,544	176	500	670	160	7,715	24,766	△24,766	—
計	78,773	20,530	16,497	15,479	16,932	9,333	157,546	△24,766	132,779
セグメント利 益又は損失 (△)	938	△335	△9	△46	846	△160	1,233	71	1,305

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流業、事務管理業務、超電導線事業等の製造販売等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額71百万円には、未実現利益の調整額83百万円を含んでおります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「デバイス事業」において、当第3四半期連結累計期間に株式会社昭和サイエンスの株式取得を行い、連結子会社としたことから、負ののれん発生益を計上しております。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては18百万円でありま

(海外売上高)

当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

	アジア	その他	計
I 海外売上高（百万円）	16,491	254	16,746
II 連結売上高（百万円）	—	—	132,779
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	12.4	0.2	12.6

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国または地域
アジア………中国、タイ、シンガポール等

3 海外売上高は、当社および連結子会社の日本以外の国または地域における売上高であります。